

環境経営レポート

(対象：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

 北商陸運株式会社



発行日 令和6年5月27日

環境経営方針

当社は、貨物運送事業者として深刻化する地球温暖化の防止に取り組む為、エコアクション21により自主的・積極的に環境改善活動を推進し、環境負荷の継続的な削減、及び顧客の信頼性を高めるため、次世代へ継承するべく活動に取り組んでいきます。

1. 当社は、次の環境課題に取り組めます。

- ① 電力消費による二酸化炭素排出量の削減
- ② 車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素排出量の削減
- ③ 廃棄物の減量、再使用、再生利用の推進
- ④ 水使用量の節減
- ⑤ 業務上必要な調達品のグリーン購入の推進
- ⑥ 環境に配慮した事業活動の推進

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や、環境への取り決め事項を遵守します。

本方針を全従業員に周知徹底します。

平成24年10月20日 制

令和 2年 4 月 8 日 改 訂

北商陸運株式会社

代表取締役 脇村征一郎

1. 組織の概要

(1) 事業所名

社名 北商陸運株式会社
代表取締役 脇村征一郎

(2) 所在地

本社 大阪府交野市幾野6丁目2番12号
春日車庫 大阪府枚方市春日西町3丁目1番15番地

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 宮平 善和
担当者 林 誠子
連絡先 電話：072-891-6626 F A X：072-892-2141

(4) 事業内容：事業用トラックによる貨物自動車運送業 認可事業名：貨物自動車運送事業

(5) 事業規模 185 百万円（令和5年度） 製品取扱量

	本社	車庫（整備）		合計
従業員（人）	12	1		13
延べ床面積（m ² ）	1031	1916		2947

(6) 事業年度； 4月 ～翌年 3月

2. 認証登録の対象範囲・活動

(1) 認証登録範囲

登録組織名； 北商陸運株式会社、春日車庫
関連事業所；なし

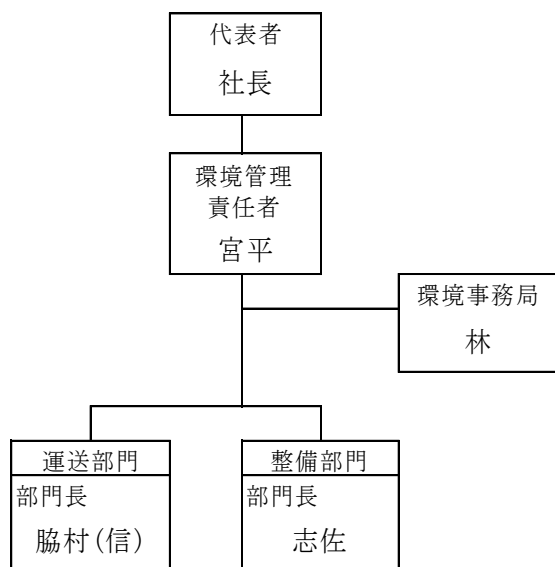
対象外事業所；なし

対象事業活動；事業用トラックによる貨物自動車運送業

(2) レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象期間；令和5年4月1日～令和6年3月31日
- 2) 発行日； 令和6年5月27日

3. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境経営管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告・ ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境経営管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標及び実績

項 目		29 年度 (29 年 4 月～ 30 年 3 月)	5 年度		目標達成度 (実績／目標) ×100%	6 年度	7 年度
		基準年度	目標	実績		目標	目標
電力の CO ₂ 排出 量削減	kg- CO ₂	7,272	6,836	6,660	(達成) 97.4%	6,836	6,836
	比率 (%)	100	94.0	91.6	—	94.0	94.0
自 動 車 燃 料 の CO ₂ 排出量削減 トレーラー	kg- CO ₂	608,699	560,003	330,857	(達成) 59.1%	560,003	560,003
	比率 (%)	100	92.0	54.4	—	92.0	92.0
自 動 車 燃 料 の CO ₂ 排出量削減 トラック	kg- CO ₂	389,036	357,913	243,613	(達成) 68.1%	357,913	357,913
	比率 (%)	100	92.0	62.6	—	92.0	92.0
一般廃棄物 排出量削減	kg	168.62	161.88	126.75	(達成) 78.3%	161.88	161.88
	比率 (%)	100	96.0	75.2	—	96.0	96.0
産業廃棄物 排出量	kg	5,390		0			
	比率 (%)	—	—	—	—	—	—
使用水量削減	m3	1,271	1,030	610	(達成) 59.0%	600	600
	比率 (%)	100	81.0	48.0	—	47.2	47.2
化学物質 使用量削減	kg	取扱いが無 く対象外					
	比率 (%)	—	—	—	—	—	—
グリーン 購入比率向上	(%)	100	100	100	(達成) 100.0%	100	100
事業活動による 環境改善 トレーラー	k m/L	1.69	2.45	2.46	(達成) 100.4%	2.45	2.45
	比率 (%)	100	145.0	146.0	—	145	145
事業活動による 環境改善 トラック	k m/L	2.75	2.84	2.90	(達成) 102.1%	2.84	2.84
	比率 (%)	100	103.2	105.5	—	103	103

(注) 2019 年度関西電力の CO₂排出係数 調整後 : 0.318kg-CO₂/kwh

5. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標項目	取組計画	達成状況	目標達成状況を含む「活動計画取組結果」の評価・今後の取組内容
電力削減	空調設定温度遵守	○	クレーン等の電気機器の使用頻度が効率よく利用できた。 次年度目標は、今年度維持。
	不要時の電源オフ徹底	○	
	機器使用時の作業効率化	○	
自動車燃料削減	不要なアイドリングストップ	○	車両稼働が減ったため。 次年度目標は、今年度維持。
	エコドライブ遵守	○	
	タイヤ空気圧の適性維持	○	
	配送ルート効率化	○	
廃棄物削減	コピーでの裏紙活用	○	活動計画の各項目は実行され、目標を達成している。 デジタル媒体を使用し紙の使用を削減する。 次年度目標は、今年度維持。
	電子記憶媒体の使用	○	
	分別収集によるリサイクル促進	○	
	タイヤ交換時にリサイクルタイヤ採用	○	
水使用量削減	洗車での節水	○	節水の意識が反映されて数値目標は達成できた
	出し放し厳禁	○	
	節水コマ利用	×	
化学物質削減	取扱いが無く対象外	—	—
グリーン購入	用紙類、事務用品のエコ商品購入	○	グリーンマークがある品目が把握できたので、継続。
事業活動での環境改善	エコドライブ遵守	○	取り組み項目は各々できている。 次年度も継続して取り組む。
	配送ルートの効率化	○	

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

遵守評価日:令和6年3月31日

主な適用法規等	該当する活動	遵守状況評価
廃棄物処理法	産廃のマニフェスト制度の適正運用	遵守
道路運送車両法	保安基準遵守、点検整備の実施	遵守
道路交通法	交通違反を犯さない	遵守
消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請	遵守
	消防設備の点検と管理	遵守
水質汚濁防止法	排水溝内側で洗車、油水分離溝の定期点検、定期清掃実施	遵守

浄化槽点検法	資格を持つ事業者の定期点検	遵守
自動車NO _x ・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
使用自動車再資源化法	廃棄自動車のフロン類の適切な処理	廃棄時
騒音規制法	仕様変更時届出、定期点検実施	遵守
振動規制法	仕様変更時届出、定期点検実施	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン等の定期点検・記録保持	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物を排出時適正な業者で適正な処分を依頼	廃棄時

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。法規の遵守状況をチェックし、問題がありません。

7. 代表者による全体の評価と見直しの結果・指示

(環境目標及び環境活動計画の達成状況)

・達成した項目と達成できた理由

- ① 電力CO₂排出量削減：輸送量が下降気味でクレーンの使用回数が減少した為。
- ② 自動車CO₂排出量削減：輸送回数が減ったため達成できた。
- ③ 水使用量削減：目標値は達成できた。
- ④ 一般廃棄物排出量削減：分別化の徹底、コピー用紙の使用をできるだけ削減した。
- ⑤ グリーン購入比率向上：対象品目が把握できているため。
- ⑥ 燃費向上：昨年の実績値同様の運行ができたため。

・代表者による見直し・指示

・環境方針

制定した方針を継続する。 変更の必要性 ■ 無

・環境目標

現行の目標で進める。 変更の必要性 ■ 無

・活動計画

現行の活動計画を継続する。変更の必要性 ■ 無

・環境経営システム全般

従業員の環境に対する意識も向上しており、さらに環境改善に取り組んでいく。

以 上